

令和4年度修了児保護者

毎日親子で手をつなぎ、いろいろな話をしながら歩いた登降園の道。今日はおうちづくりの続きをするよ！今日は、お花や葉っぱで色水をつくったよ！私は、幼稚園の話を聞きながら歩く、この時間が大好きでした。修了式を迎え、魅力いっぱいの幼稚園で過ごすことができた日々に改めて感謝しております。

コロナ禍で過ごした3年間。例年であれば経験できた行事も中止や縮小になり、制限の多い幼稚園生活ではありましたが、先生方は子供たちの安全を第一に考え、環境を整え、常に寄り添ってくださいました。

年長の夏からは、園の改修工事がはじまり、夏休み明けから2月中旬までを仮園舎で過ごしました。年長2クラスが合同で過ごした仮園舎での保育。あまり交流のなかったお友達とも遊ぶようになり、輪が一層広がったようです。

修了式までの2週間は、ピカピカの新園舎で過ごすことができました。久しぶりに大好きな園庭でも遊ぶことができ、自然いっぱいの広い園庭は附属幼稚園の魅力の一つだと改めて感じました。

修了式当日は、マスクを外し、やっとみんなの顔を見ることができました。コロナ禍をよく乗り切ったね、頑張ったね、と、保護者一同、同じ気持ちだったことと思います。

自分のやりたいことを見付け、思いっきり遊ぶことができる幼稚園。考えたり相談したりしながらどんどん遊びが広がっていく様子に、子供の成長を感じることができました。コロナ禍ではありましたが、温かな雰囲気の中、のびのびと遊んで過ごした日々は、これから生きていく上での基礎となり、力となっていくことでしょう。

いつも見守り、援助して下さった先生方、ありがとうございました。

